

閉校への道

旭川市立聖和小学校
閉校記念事業実行委員会
平成27年12月20日発行

だより (第3号)



ふるさとは我が学び舎（昭和53年頃の聖和小学校）

閉校式典まで残す時間は2ヶ月となりました。最後の同窓生となる8名の在校生にとって、思い出多い式典となるように、閉校に向けて各種事業を進めています。

事務局で取り纏めた参加者数や協賛金協力金の状況、また式典等の現時点における進捗状況などについてご報告いたします。

（実行委事務局長 武田 勇 美）

【参加状況】

閉校式典への出欠締切日（12/15）が来ました。これまでの式典参加者は次のとおりです。来賓18人、教育委員会8人、教職員関係者23人、表彰者9人、実行委員会29人、地域内21人、同窓生67人、そして在籍児童8名、併せて183人です。地域からはもう少し増えそうですので、多分200名を超える閉校式典になると思います。同窓生からは「悲しい、寂しい」とのメッセージが多く寄せられていますが、最後の行事、気合いを入れて執り行います。返信葉書を出していない方はまだ間に合いますので電話でも結構ですから（☎75-4474武田）迄電話ください。是非、閉校式典・惜別の会に、ご出席ください。

【資金状況】

先日、同窓生の方からこんなお電話がありました。「閉校事業に160万円もの経費がかかるのですか？式典にはそんなにかからないと思いますし、記念誌だってそんなに必要とは思わないのですが・・・」と言った内容でした。閉校式典は聖和小学校の行事として心に残るようなものにしたいこと、廃校後の小学校跡利用について地域主体となって、これからもコミュニティの核として維持管理していくということなど、これからも掛かるであろう経費にも使っていきたいとの説明に納得していただきました。

同窓生の皆さま、地域の方々の大きなお支援で目標額を上回る200万円を超える支援協力金が寄せられています（H27.12.15現在）。事業が終了し、実行委員会を解散をする際、収支決算についてご報告をさせていただきます。これまで「閉校への道だより」でもお話ししていますが、閉校記念誌は来年4月頃にお届けする予定ですが（と言うのも、「閉校式典」の集合写真及び最後の卒業式の写真を掲載したいからです。）、中間収支決算書を記念誌に添付いたしますので、閉校式典出席者には、記念誌と共に必ずお届けさせていただきます。

【次第等】式典・感謝状授与・惜別の会の次第等について報告したいと思います。



先月11月27日に大雪クリスタルホールで「岡本知高コンサート」がありました。何と聖和小学校の児童達が招待を受け、岡本さんのステージにサプライズ出演をし拍手喝采を受けました。岡本さんは男性でありながら女性ソプラノの音域を持つ男性ソプラノ歌手「ソプラニスタ」として、世界的にも大変希有な「天性の男性ソプラノ歌手」なんです。

ステージに上がった聖和小学校の児童と職員達は、岡本さんと共に「ふるさとの四季」を熱唱しました。声を掛けていただいた西島クリスタルホール館長や満員の観客から絶賛され、児童達にとりまして大変貴重な思い出となったことと思います。

言うことで、閉校式典において再度「ふるさとの四季」を熱唱していただくことを企画致しました。岡本さんを招聘することは出来ませんが、当日伴奏をしていただいたピアニスト榎本潤さんには、再度来旭することを快諾していただきました。榎本さんには「聖和小学校校歌」も演奏していただきます。参会された皆さまにも、きっと記憶に残る聖和小ステージになるものと信じております。